相模原市で育成する情報活用能力の各要素

発達の段階		情報活用標準スキル				ICT 活用標準スキル	プログラミング教育			情報セキュリティ・モラル		
		課題	収集	吟味	表現		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	心をたがやす	知識を身に付ける	
小学校段階	1年	1－（1） ○「あっ！」「あれ？」をみつけよう ・「あっ！」ときづいたことをかこう ・「あれ?」とふしぎに思ったことをかこう ［教師と］ ワークシート　カード	1－（2） ○かんけいのあることをあつめよう ・観察しよう ・体験しよう かんさつカード、ワークシート・絵	1－（3） ○収集した情報を分類し、比べる ・あつめたことをわけたり、くらべたりしてみよう Ｘチャート、情報カード	1－（4） ○絵や短い文にする ・わかったことや考えたことを絵や作文にする 作文　絵　日記	・マウスを使ってアイコンを選択する ・ソフトウェアを起動、終了する ・書画カメラを使用して見せたいものを大きく写す	身近なコンピュータや、それが手順によって動きが違うことへの気付き ア　「キッチンタイマー」「電子玩具」など、身近に触っているものなどについて、一定の順序で動作していることに気付き、その順序を説明すること。 イ　意図した動作を再現するために試行錯誤すること。	試行錯誤できる力	コンピュータのよさを主体的に見つけようとする気もち	約束や決まりを守る① 約束や決まりを守り、みんなが使う物を大切にする Ｃ－（１０）規則の尊重	ていねいな言葉を使う② 国語 さあ、はじめよう 「なんて　いおうかな」	知らない人に連絡先を教えない③ 国語 生活 「なつやすみをたのしもう」
	2年	2－（1） ○知りたいことを決めよう ・はっけんしたことをカードに書こう ・にているもの同士なかま分けをしよう ［教師と］ グループ　KJ法　カード	2－（2） ○えらんで、くわしくしらべよう ・デジタルカメラで撮影しよう ・ホームページなどで情報を集めよ。 デジタルカメラ・パンフレット・ＨＰ	2－（3） ○収集した情報を分類し、比べる ・あつめたことを分けたり、くらべたりしてみよう ベン図、グループによる話し合い	2－（4） ○写真を撮って紹介する ・デジタルカメラを活用して紹介する ・紹介するときの順番を考える 観察記録　デジタルカメラ　大型ＴＶ	・キーボードを使用して文字を入力する ・検索エンジンにキーワードを入力する ・デジタルカメラで撮影する ・デジタルカメラで撮影したデータを大型テレビに入力する				生活の中でのルールやマナーを知る② 人の作品を大切にする Ｂ－（６）親切、思いやり	相手の気持ちを考えて話す① 国語 すすんで考えを出し合おう 「みんなできめよう」	情報機器は大人と一緒に使い、危険に近づかない③ 情報機器は大人と一緒に使い、危険に近づかない③
	3年	3－（1） ○みんなの意見からか題をつくろう ・テーマに沿って意見を出しあおう ・出た意見をもとに、疑問を出そう ［教師と］ グループ　ウェビング	3－（2） ○集めたじょうほうをくらべてみよう ・インタビューで情報を集めよう ・ファイルに情報を集積しよう ファイリング	3－（3） ○情報をグラフで整理する ・調べたことをグラフにしてみよう 棒グラフ、アンケート調査	3－（4） ○資料を見やすく工夫する ・コンピュータを使って資料をつる ・ＩＣＴ機器を利用して発表する 表　グラフ	・様々な文字や記号を入力する ・短い文章（５０文字程度）を入力する ・自分の名前などをローマ字入力する ・文書処理ソフトや表計算ソフトなどの、ソフトウェアを使用する ・作成したファイルを保存、印刷する	生活でのコンピュータの活用や、それがプログラムによって動いていることへの気付き ア　「信号機」「エレベータ」など、普段利用する機器について手順を説明し、生活で利用する有用性に気付くこと。 イ　意図した動作を再現するために、論理的に試行錯誤すること。	思考の手順を意識して試行錯誤できる力	コンピュータの働きを、主体的に生活の中で生かそうとする気もち	相手のことを考え、自分の発言に責任をもつ① 文字だけで伝える難しさ Ｂ－（６）親切、思いやり	自分の情報だけでなく、他人の情報も大切にする① 国語 進行を考えながら話し合おう 「つたえよう、楽しい学校生活」	情報には間違ったものもあることに気づく③ 社会 「わたしたちのまちしらべ（絵地図にまとめよう）」
	4年	4－（1） ○調べたことからか題をつくろう ・調べたことをグラフに表そう。 ・グラフを見て気づいたことを出そう ［個人で］グループ　棒・折れ線グラフ	4－（2） ○情報収集の適切な方法を選ぼう ・アンケートを作ってみよう ・インターネットを活用してみよう アンケート（自作）・インターネット	4－（3） ○順序づけをする ・何から発表するか順番を決めよう 順序づけ（ナンバリング）、話し合い	4－（4） ○表やグラフを使って表す ・表やグラフを発表資料にする ・表計算ソフトを使用する 表計算ソフト	・長い文章（２００字程度）を入力する ・デジタルカメラで撮影したデータをＰＣに保存する ・フォルダにデータをコピー、保存する ・表計算ソフトを利用し、情報を表にまとめる				自分や他人の権利を知り、尊重する① 他人の権利を尊重する Ｃ－（１１）規則の尊重	他人が発見した物やつくった物の価値や権利を理解する① 国語 本で調べて、ほうこくする文章を書こう 「わたしの研究レポート」	不適切な情報に出会ったときは、大人に相談する③ 社会 「水はどこから」
	5年	5－（1） ○課題を整理しよう ・課題こうほをカードに書こう ・目的や条件に沿って順位を付けよう ［個人で］ グループ　カード　序列化	5－（2） ○自分にとって必要な情報を集めよう ・同じテーマで多方面から情報を集めよう ・情報の信憑性を確認しよう 図書館・新聞・インターネット・映像	5－（3） ○マトリックスを活用して話し合う ・複数あることがらを、表を使ってくらべてみよう ﾏﾄﾘｯｸｽ、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ	5－（4） ○聞き手に伝わるﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝにする ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ用ｿﾌﾄを使って発表資料を作成する ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ用ｿﾌﾄ　ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ	・１０分間に４００字程度の文章を入力する ・目的に応じたソフトウェアを選択する ・プレゼンテーションソフトを使用して発表する ・作成したファイルを記憶媒体に保存する	身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることへの気付き ア　「施設の自動照明」など、生活で利用される機器について有用性に気付き、その仕組みを踏まえたプラスとマイナスを説明すること。 イ　問題を解決する動作を意図し、再現するために論理的に試行錯誤すること。	意図した一連の活動の設定を行い、思考の手順を意識して試行錯誤できる力・	コンピュータの働きを、主体的に社会の改善に生かそうとする気もち	知り得た情報が正しいかを判断する③ 自律的で責任のある行動 Ａ－（１）善悪の判断、自主、自律、自由と責任	情報を交信するときのルールやマナーを知り、守る② 社会 「情報産業について」	自分や他人の個人情報を、第三者にもらさない③ 国語 考えを明確にして話し合い提案する文章を書こう 「明日をつくるわたしたち」
	6年	6－（1） ○課題解決の見通しをもとう ・課題に対する予想・仮説をたてよう ・確かめるための方法を考えよう ［個人で］ グループ　ワークシート	6－（2） ○課題に応じて必要な情報をまとめよう ・資料から情報を読み取ろう ・編集を考えて情報を整理しよう ・統計資料	6－（3） ○座標軸を活用して整理分析する ・集めたことを項目ごとに整理して、比べてみよう 座標軸	6－（4） ○友だちの発表を聞いてみよう ・情報の表し方を相互評価する ・適切な表現方法を考える 評価カード　パネルディスカッション	・１０分間に５００字程度の文章を入力する ・ソフトウェアを利用し、写真や図、表などを複合した資料を作成する ・電子メールを送信する				情報の正確さを判断し、さらに必要な情報を選択する③ 情報の信憑性 Ａ－（１）善悪の判断、自主、自律、自由と責任	ネットワークの公共性を理解し、意識して使う⑤ Ｃ－１０ ネットワークの公共性 「みんなのネットワークをより良くしよう」	情報の正確さを判断する方法を知り、身につける③ Ｃ－１０ 国語 町のよさを伝えよう パンフレットをつくろう 「ようこそ、私たちの町へ」
中学校段階	1年	7－（1） ○自分の力で課題をつくろう ・学習テーマにそって情報を集めよう ・集めた情報を整理して課題をもとう ［個人で］ ウェビング　KJ法　序列化	7－（2） ○必要な情報を整理し、共有しよう ・ＰＣフォルダ・カードに整理しよう ・種類ごとに整理し、共有しよう コンピュータフォルダ（情報蓄積用）	7－（3） ○ウェビングと順序づけで整理分析する ・アイディアを分類・関連づけしてみよう ウェビング、順序づけ（ナンバリング）	7－（4） ○聞き手にわかりやすいプレゼンにしよう ・適切な表現方法を選択し、聞き手に印象深く、わかりやすく伝える ・発表内容を明確にし、構成を整る 若あゆでの体験学習の発表	・１０分間に６００字程度の文章を入力する。 ・場面や状況などに合わせて機器を選択する。 ・文字や音声、静止画、動画などを、ディジタル化する。 ・ＩＤやパスワード、フィルタリング、ウイルスチェック、情報の暗号化などの、情報セキュリティ確保のための設定をする。 ・フォルダを作成しファイルの種類や内容に応じて整理、保存する。	社会におけるコンピュータの役割や影響の理解と、問題を解決するプログラムを作成できる技能 ア　「植物工場」など、社会で利用される自動システムについて仕組みを踏まえたプラスとマイナスを説明し、その影響や未来のテクノロジーの在り方を提案すること。 イ　問題を発見して、解決する動作を意図し、再現するために論理的に試行錯誤すること。	問題を発見して、意図した一連の活動を設定し、思考の手順を意識して試行錯誤できる力	将来への影響も考慮した上で、コンピュータの働きを、主体的に社会の発展に生かそうとする態度	自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動する③ 節度、節制 Ａ－（２）　節度、節制	違法行為の種類や内容を知り、絶対に行わない② 各教科等の授業など	安全性の面から、情報社会の特性を理解する③ 学級活動 「社会の一員としての自覚と責任」
	2年	8－（1） ○活動内容に合わせて課題をつくろう ・事前調査をしよう ・調査結果を整理して課題をつくろう ［個人で］ KJ法　序列化	8－（2） ○様々なメディアから情報を選ぼう ・様々なメディアから関連する情報を取捨選択し、複数見つけ出そう メディア	8－（3） ○SWOT 分析を活用して、自分の適性を知る ・職場体験学習に向けて自分の適性を知ろう SWOT 分析	8－（4） ○発表内容の順番を工夫しよう ・説明する順序を明確にし、聞き手にわかりやすい発表にする 校外学習、職業体験の発表	・画像や映像を適切なファイル形式に変換する。 ・写真やイラストの解像度を用途に合わせて変更する。 ・文書や画像、映像などを複合して表現、発信する。 ・保存先の階層構造を意識し、ファイルを分類して保存する。				トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知り、行動する③ 友情、信頼 Ｂ－（８）　友情、信頼	情報セキュリティの基礎的な知識を身につける④ 各教科等の授業、技術分野「コンピュータと情報通信ネットワーク　情報セキュリティ技術を知ろう」など	自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識をもって行動する③ 学級活動 「社会の一員としての自覚と責任」
	3年	9－（1） ○身近な問題から課題をつくろう ・問題を発見し、原因を調べよう ・解決のための具体的取り組みを考えよう ［個人で］ウェビング 座標軸 KJ法序列化	9－（2） ○課題に応じて適切な情報収集の方法を選択し、必要な情報をまとめよう ・内容を明確に表すための情報を集めよう ・標本調査をしよう 調査資料	9－（3） ○見通しを持って課題解決学習をする ・フローチャートを利用して、学習プランを立てよう フローチャート	9－（4） ○プレゼンテーション力を高めよう ・相互評価をする ・発表内容から新たな価値や課題を示す 修学旅行の発表	・１０分間に８００字程度の文章を入力する。 ・文書や画像、映像などを効果的に複合して表現、発信する。 ・情報の管理効率やセキュリティを考え、ファイルを圧縮して管理する。 ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムを作成する。				ネットワークの公共性を理解し、意識して行動する⑤ 思いやり Ｂ－（６）思いやり、感謝	著作権などの知的財産権を尊重する① 各教科等の授業、技術分野「コンピュータと情報通信ネットワーク　情報を安全に利用しよう」など	自他のトラブルに対する主体的な解決方法を探り、自ら行動する③ 学級活動 「学級や学校における生活上の諸問題の解決」

※各要素を育成するための指導の具体は、「相模原プログラミングプラン」「情報モラルハンドブック」「情報活用ハンドブック」をご参照ください。

※情報セキュリティモラルのセルの色は次の内容の分類を示しています。

① 情報社会の倫理	② 法の理解と遵守
③ 安全への知恵	④ 情報セキュリティ
⑤ 公共的なネットワーク社会の構築	